

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 169 10月号

2019年10月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.159

「図書館に感謝！」

揖保町 二井 明

古希を迎えた私にとって、図書館ほど居心地の良い場所は他にない。静かな雰囲気の中で、作者との新たな出会いを期待しながら、気に入った本を選んで、4, 5冊借りる。そして、2週間以内に読み終え、次のおもしろそうな本を借りる・・・といった毎日。若いときから、理想に思っていた読書生活が今まさに続いていることを何よりも嬉しく思う。

関心のある本の内容については、7, 8年前から変わってきていて、今は対談集がおもしろい。五木寛之氏や養老孟司氏の対談集は、相手との言葉の掛け合い、考えの引き出し方に何とも味わい深いものがあるし、山中伸弥氏と羽生善治氏の対談『人間の未来 AIの未来』（講談社、2018）も楽しく読み終えた。良い対談集は、読後感がとびきりさわやかである。

さて今の私は、「兵庫県いなみ野学園」に通って7年目。大学院を修了して、研究生となり、“フレイルの予防と対策”というテーマに取り組んでいる。当初は認知症予備軍である“軽度認知障害（MCI）の予防と対策”を研究対象にしていたが、大学院修了レポートを執筆する過程で、予防対策の実践的アクティビティやエクササイズに物足りなさを感じていた。

そんなある日、図書館司書の方に“フレイル”に関する本を2, 3冊紹介していただいた。今まで聞いたことのない用語である。しかし、読んでいくうちに、“フレイル”（虚弱）とは健康と要介護の間の段階を意味し、身体的フレイル（ロコモなど）、社会的フレイル（引きこもりなど）、精神的フレイル（軽度認知障害など）といった老いについての包括的なコンセプトであることがわかり、「これぞ老い方上手をめざす私のメインテーマになる！」と思い定めた。それ以来、フレイル予防の研究として、日常生活の中での体の動かし方、呼吸法、ワーキングメモリーの活性化等にシフトし、実践化をめざしている。

このように、素敵な本や作者、親切な司書と出会える図書館に心より感謝申し上げたい。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。



著者は、日本最大級の辞典、『日本国語大辞典』全13巻を全巻読むという無謀な試みをしたが、読み終わった時には「残ったものがある」「得たものがある」という実感があ

った。日本語のプロであってもそれは、「自身の知らない日本語がいくらでもある」「自身が読んだことのない文献はいくらでもある」という2つの大きなことだと著者は述べている。

その結果、「今出会っている日本語」に丁寧に接しようと言う気持ちが生まれ、新聞の見出しや電車内の広告、テレビドラマで使われていた語、テレビアナウンサーの話し方など、気になることが増えた。そうしたことを記録したのが、この本の1つの面である。著者は、それを「日本語いちゃもん日記(笑)」と命名する。

例えば、【3月17日(土) 晴れー日本語の古層ー】において、著者はこう記す。『さくらジャパン』というようなネーミングがどうしても気になる。日本代表は『侍』『サクラ』なのかといつも思う。『こういう場合』は国威高揚とか、そういう語とも無関係ではないだろう。サクラは日本の象徴だし、綺麗なんだから別に問題ない、という考え方もあるだろうが、何事もよくよく考えてから、と言う考え方も当然ある

著者は、文学者たちの表現にも言及し、日本語と日本文学を深く論考している。365日、日本語と向き合い、常に日本語に対して思考し、疑問を持ち、探索する。日本語が「浅く、単純に、粗く」なっていく現状について憂いつつ、現在も日本語に情熱をもって生きている。この「日本語いちゃもん日記(笑)」の続編をいつい期待してしまう。(龍野図書館 片岡)

トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館

おはなしのじかんのあとは

がいこつにへんし〜ん!



おはなしを聞いた後に、がいこつの衣装を作ります。

【日時】10月26日(土)

① 10時~11時30分 ② 14時~15時30分

【内容】1. おはなし「あべこべ・うさぎ」ほか
2. 工作 がいこつの衣装

【場所】新宮公民館

【対象】5歳以上(保護者同伴)

【持ち物】はさみ(よく切れるもの)、セロテープ(台付き)
黒マジック、輪ゴム2本、えんぴつ、のり

【定員】各10名(要申込・先着順)

たつの市民まつりに参加します!

移動図書館車で本の貸出しや電子図書館の利用申込みの受付をします。タブレットで体験もできますよ!
ぜひ、貸出券を持って市民まつりへお越しください。

【開催日】11月3日(日・祝) 8時~16時45分

【場 所】たつの市役所および中川原公園



龍野図書館

令和元年度 龍野図書館 読書講演会

子どもも大人も絵本で育つ

子どもに関わる多くの方に向けて、成長にあった絵本の選び方、絵本のもつ力のお話を、発達心理学の視点も交えてお話しいたします。

【日時】10月27日(日) 14時~15時30分

【場所】龍野図書館 2階研修室

【講師】湯澤 美紀 氏(ノートルダム清心女子大学人間生活学部
児童学科准教授)【対象】一般(高校生以上)

【定員】50名(要申込・先着順) ※託児あり

揖保川図書館

読書講演会

「秋霜に生きる

~孤高の政治家・斎藤隆夫の生涯~」

今年5月に『秋霜に生きる 孤高の政治家・斎藤隆夫』(文芸社)を刊行した揖保川町在住の横家伸一氏に、大正から昭和にかけて活躍した豊岡市出石町出身の政治家・斎藤隆夫の生涯についてお話を伺います。

【日時】11月23日(土・祝) 14時~15時30分

【場所】アクアホール3F研修室

【講師】横家 伸一 氏(揖保川町在住)

【対象】一般

【定員】40名(要申込・先着順) ※無料

『ともだちつれて よろしいですか』

B・S・ド・レーニエ さく わたなべ しげお やく 童話館出版



王様とお妃様が日曜日に僕をお茶に招待してくれました。僕が「ともだちつれてよろしいですか」と聞くと、王様は「いいともいいとも、わたしたちのともだちのともだ

ちなら大歓迎じゃ」と言いました。そこで、僕はともだちのキリンを連れてお城に行くと王様とお妃様は、大歓迎でした。王様とお妃様は「月曜日の晩ごはんにシチューをいただきます。あなたもぜひいらっしゃい」と僕をまた招待してくれました。僕が「ともだちつれてよろしいですか」と聞くと王様が「ともだちのともだちなら大歓迎じゃ」と言ってくれたので、ともだちのカバと一緒に

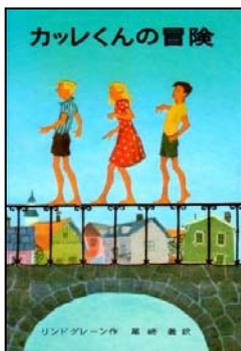
そして、火曜日にはたくさんのサルたちと、水曜日にはゾウを連れて行きました。木曜日にはハロウィーンのお祭りに招待されたので、僕はライオンたちを連れて行きましたが、2人はまた大歓迎でした。そして金曜日にはアシカと一緒に行きました。やがて土曜日になり、また王様とお妃様が僕を招待してくれましたが、今度は僕と僕のともだちが2人を招待し、動物園でお茶をいただきました。

リズムのある繰り返しの文で次々と意外な動物たちが登場する楽しさと、王様とお妃様の人柄の良さも伝わります。またピンクやオレンジの温かい色調と黒の線で描かれた挿絵は独特で素朴な印象を受けます。読んであげるなら4歳くらいから。

(揖保川図書館 河部)

『カッレくんの冒険』

アストリッド・リンドグレン 作 尾崎 義 訳 岩波書店



昨年夏に、宝石泥棒を捕まえた名探偵カッレと友達のアンデスとエーヴァ・ロッタは、平穏な夏休みをもてあましていました。ある日、エーヴァ・ロッタはアンデスから秘密の用事を頼まれ、

町外れの遊び場・大平原へ向かいます。そこで、金貸しのグレンさんが、殺されているのを発見します。直前に出会った男が犯人だと思ったエーヴァ・ロッタは、警察に男の服装やひげが生えていたことなど詳しく話をします。すると、その証言とエーヴァ・ロッタの名前や住所が新聞に載り、家に贈り物が届くようになりました。ところが、贈り物のチョコを食べた犬が倒れ、カッレは推理を働

かせその中に毒が入っていたことを突き止めます。

事件が解決しないまま月日が過ぎ、事件の恐怖が薄れた3人は大平原へ遊びに行きます。そこで男と遭遇しますが、男はひげを剃っていてエーヴァ・ロッタは犯人とは気付きません。しかし男の手を見た時、目撃した時の記憶が蘇り、その男が犯人だと確信します。

エーヴァ・ロッタは、恐怖を抑えて3人にしか分からない山賊ことばで、この男が犯人だと知らせます。3人に危険が迫り、ハラハラすると共に、カッレの洞察力と勇敢な3人の姿には驚かされます。

この本は、『名探偵カッレくん』に続く2巻目で、3巻目は『名探偵カッレとスパイ団』です。小学5年生くらいから。

(新宮図書館 進藤)



10月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

19日(土)
11時～11時20分
『おおきなかぶ』他

揖保川図書館

【対象】1～2歳児、保護者

5日(土)・17日(木) 10時30分～10時45分
『くつついた』他

【対象】3～4歳児、保護者

19日(土) 10時30分～10時50分
『にんじん だいこん ごぼう』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

13日(日)・27日(日)
11時～11時20分
『おべんとう』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

13日(日)・20日(日) 11時～11時20分
『おせんべやけたかな』他

【対象】5歳児～

13日(日)・20日(日) 11時30分～11時50分
『やまなしもぎ』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

12日(土)・26日(土) ※26日は引き続きイベント有り(要申込)。詳細はP2をご覧ください。
11時～11時30分
「こなべどん」他

揖保川図書館

5日(土)・19日(土)
11時～11時30分
「なら梨とり」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

11日(金)
10時～11時30分
「雛」
芥川 龍之介 著

揖保川図書館

4日(金)
10時～12時
「恐竜と銀杏」
小手鞠 るい 著

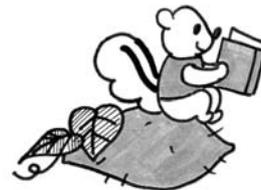
御津図書館

16日(水)
13時30分～15時30分
『徳川がつくった先進国日本』
磯田 道史 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

10日(木) 10時～11時30分
『農場の少年』ローラ・インガルス・ワイルダー 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

子どもも大人も 絵本の世界へ

湯澤美紀先生の講演会に向け、著書内で紹介されている絵本を集めました。「子どもも大人も」育ててくれる絵本の数々を、ぜひ手に取ってご覧ください。

【期間】10月30日まで

新宮図書館

おいしい本たち

料理のレシピ本はもちろん、食の歴史や食文化に関する本、食にまつわるエッセイ、ミステリー、お仕事小説など、食欲の秋にあわせておいしい本を集めました。

【期間】10月30日まで

揖保川図書館

スポーツを知ろう!

来年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。さまざまなスポーツの歴史やルール、上達のコツなどに関する本を集めました。スポーツの奥深さに触れてみてください。

【期間】10月30日まで

御津図書館

子どもの本で 社会を知る

LGBT、環境問題、ユニバーサルデザイン、宇宙ロケットなど、社会の仕組みや最先端技術が書かれた子ども向けの本を読んで、「現代」を勉強してみませんか? 苦手な分野も身近に感じられます。

【期間】10月22日まで